

## 総会報告

令和5年5月18日(木) 午後1時15分から、大宮ソニックシティ 804会議室にて非営利活動法人埼玉エコ・リサイクル連絡会第19期通常総会が開催されました。3月末現在の会員数49 出席人員11 委任状38 計49で総会は成立、石川恵輪会長挨拶、埼玉県環境部資源循環推進課課長 尾崎範子様より来賓祝辞を頂戴し、第1～5号議案が承認されました。

### 総会記念講演会 「私たちをとりまく化学物質」

講師 環境科学国際センター 研究推進室 副室長 大塚宜寿氏

講師の所属する埼玉県環境科学国際センターは、2000年4月に開設され、敷地はおおよそ東京ドーム1個分である。宿泊施設も備え、海外からの研究者を迎えることができる。展示館や生態園は、一般に公開されており、小学校の社会科見学にも活用されている。環境大学という講座も県民向けに開講しており、その修了生は「彩の国環境大学修了生の会」を組織して活動している。講師の所属する研究所・研究推進室には、調査・研究をするための担当が7つあり、化学物質という視点で環境について調査・研究を行っているのは、主に化学物質・環境放射能担当である。講師は、この担当に3月まで所属していた。



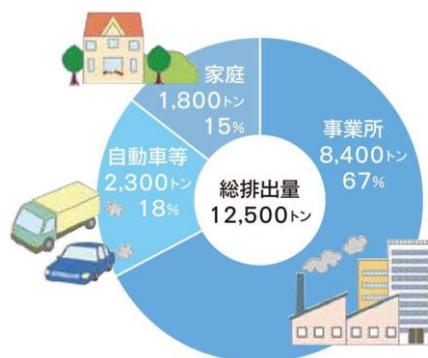
身の回りのものはすべて化学物質であるが、本講演では主に人工的なものに着目する。化学物質の種類は多く、日本で製造・輸入されている化学物質だけでも、5万種以上といわれている。化学物質は、生活のあらゆるところで使用されており、欠かせないものとなっている。

しかし、「化学物質」という言葉のイメージは、「有害」、「危険」などというように悪いものが多い。それは、4大公害病の原因が化学物質であったことも影響しているだろう。かつて、問題となったダイオキシン類、PCB、近年、ニュース等で取り上げられている有機フッ素化合物 PFAS も化学物質である。揮発性環状メチルシロキサンは、魚への悪影響の懸念から、これを含有しないノンシリコンシャンプーというものも登場した。

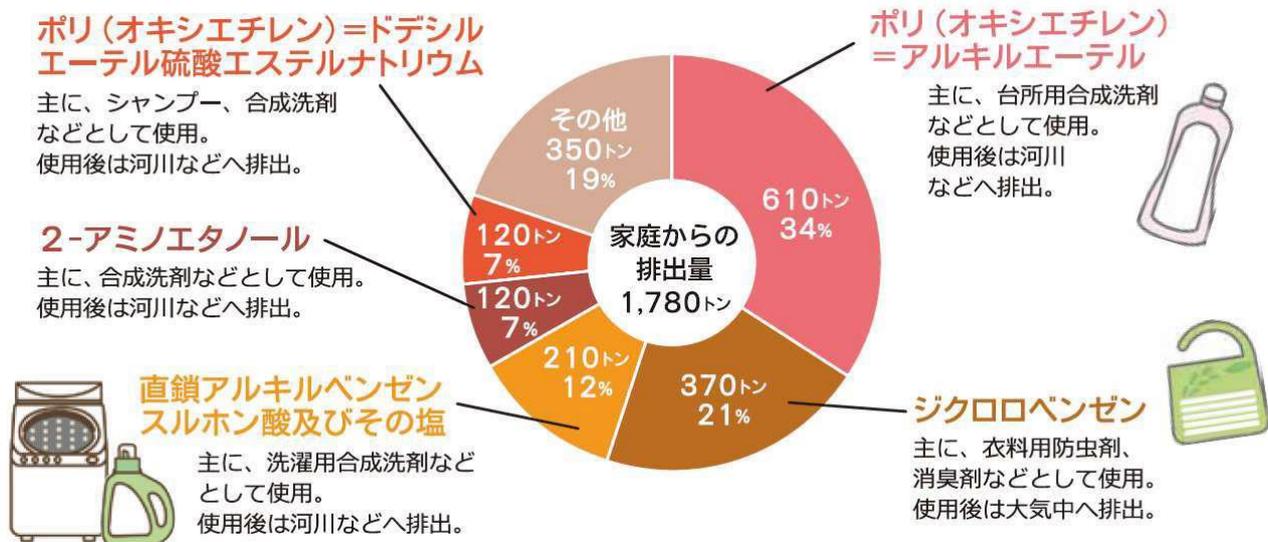
これらの残留性有機汚染物質 POPs は、大気循環により、極域にまで移動することが分かってきた。これら以外にも、昨年の講演で取り上げたネオニコチノイドなど、環境への悪影響が懸念される化学物質がある。環境省では、環境中の濃度レベルがあきらかとなっていない化学物質の全国的な調査を実施している。必要に応じて分析法の開発等も行っている。この調査については、環境科学国際センターも協力している。

人や生態系への有害性と暴露可能性があると認められる物質については、環境中への排出量などを把握するための法律がある。埼玉県内で多く排出されているのは、塗料の溶剤として使用されるトルエン、キシレンなどである。家庭からは、合成洗剤がもっとも多く、衣料用防虫剤も多い。令和2年度の排出量を平成13年度のそれと比較すると、事業所からの排出量は約8割削減されたが、家庭からの排出量は約4割の削減である。

**環境への排出量(令和2年度)  
埼玉県(全国6位)**



**家庭から排出される有害物質(令和2年)**



製品に表示された注意書きは、医薬品や農薬・殺虫剤・防虫剤の方が、飲み水・食品や日用品より読まれている。また、年齢が低いほど読まない傾向がある。

化学物質の毒性の指標として、半数の検体が死ぬ摂取量、半数致死量(LD50)がある。この値が小さいほど毒性が強いことになる。化学物質のリスクは、毒性の強さと取り込む量を掛けた値で評価する。これによれば、日本では、ダイオキシン類より食塩の方がリスクは高いことになる。また、化学物質の基準値は、その設定において、実験の数など、試験の条件(不確実性)によって、低い値(つまり、厳しく)設定されていることを理解しておくとい。

新規の化学物質の導入は、地球の限界を超過しているという報告がある。その一方、新規の化学物質は日々増加している。環境科学国際センターでは、環境中の様々な化学物質を網羅的にそして迅速に検出できるようにする分析技術の開発に取り組んでいる。

#### 質疑応答

Q ここで例として示された塩の致死量大匙 10 杯(180g)は、どのような塩ですか？

A 精製塩と考えられます。

Q 環境省のエコチル調査について？

A エコチル調査では、赤ちゃんがお母さんのお腹の中にいるときから成長する過程において、血液・尿・毛髪などの試料を提供していただき、化学物質を調査しています。13 歳になるまでの計画であったものが、18歳になるまで調査が継続されることになったようで、まだ道半ばと考えられます。様々な視点での成果が公表されておりますが、調査で得られた結果を解析することは、人によって、生活習慣や生活環境、体質なども異なりますので、大変困難なことであることが想像できます。

Q 化学物質による悪影響を避けるには？

A 化学物質は、様々な場面で様々なもの使用され便利で快適な生活を送る上で欠かせないものとなっています。一方、化学物質は、アレルギーを引き起こすなど、悪影響を及ぼすものもあります。そのような物質は人によって異なることから、現状では自衛が最も効果的と個人的には考えています。

Q フッ素コートフライパンの PFAS について？

A PFAS のひとつである PFOA が使用されたものがあつたそうです。以前に当センターで調査した際には、PFAS は検出されなかったそうです。

Q 防虫剤を使わず、圧縮袋に入れ、一緒に使い捨てカイロを入れている。使い捨てカイロの成分は、炭と鉄粉と塩であり、袋内の酸素を消費するので、虫は生きることができません。

A とても良い工夫をされていると考えます。



一般  
社団法人 繊維リサイクル協会

<http://tera-jpn.or.jp/index.html>



読売旅行

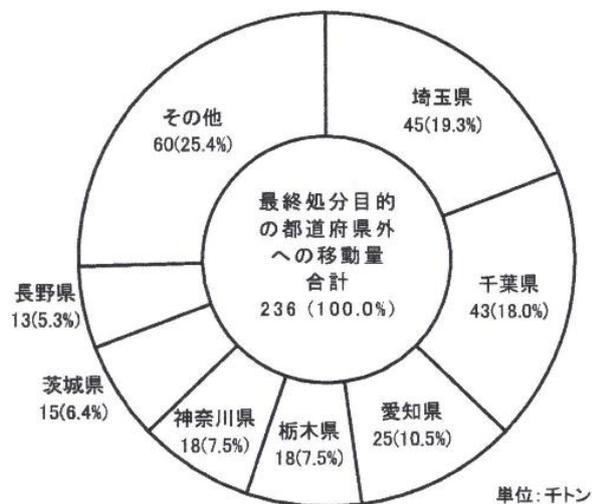
読売旅行「あなたの街から」いい旅 いつも これからも

☎03-6859-4343 FAX : 03-6859-4433

## 「最終処分を他県に依存している埼玉県」

埼玉エコ・リサイクル連絡会 上領 園子

このグラフは最終処分を目的とした一般廃棄物の都道府県の区域を超える広域移動の量を表しています。



全国で、埼玉県が最も多いです、つまり埼玉県は県内で最終処分ができず4万5千トンもの多くの残渣を他の県へ依頼しているという事です。

次に多いのが千葉県、愛知県、栃木県、神奈川県、茨城県の7県で全体の75%を占めています。関東ブロックの県が多くを占めています、他県に依存しているのが埼玉県を始め関東ブロックの現状です。その中で、東京都は東京湾の埋め立てに利用していますのでこの統計には出ません、埼玉県は多くを隣の群馬県や遠く東北から

北海道にまでも運んでいます。

最終処分には、どこでも嫌がる埋め立て最終処分場と高温で溶かすなどがあります。埼玉県から茨城県へむかって千トンから1万トン出ています、これは、私たちがお世話になっています埼玉県西部環境保全組合が笠間市の民間企業へ送って、ここでは灰を高温で溶かし資源化しています。

埼玉県西部環境保全組合では、灰の成分が適合したことで今後熊谷の太平洋セメントへセメントの材料として送る事になっています。このセメントはエコセメントと言って建築資材としては使われません。

都道府県別の一人当たりに対する埋め立てなどの最終処分に残された容量は、環境省のホームページによりますと、埼玉県は茨城県や徳島県と同じく、一人当たり残り0.1 m<sup>3</sup>です。つまり、今後焼却灰などを埋め立て処理する空きが一人当たり10センチ四方しか残っていないという事です。

徳島県はごみ減量やリサイクルで全国1位や5位以内に入る程ごみ減量に努力している自治体が幾つもあります。

司法書士竹内啓修事務所

お問合せ ☎048-963-6055 不動産・商業登記全般

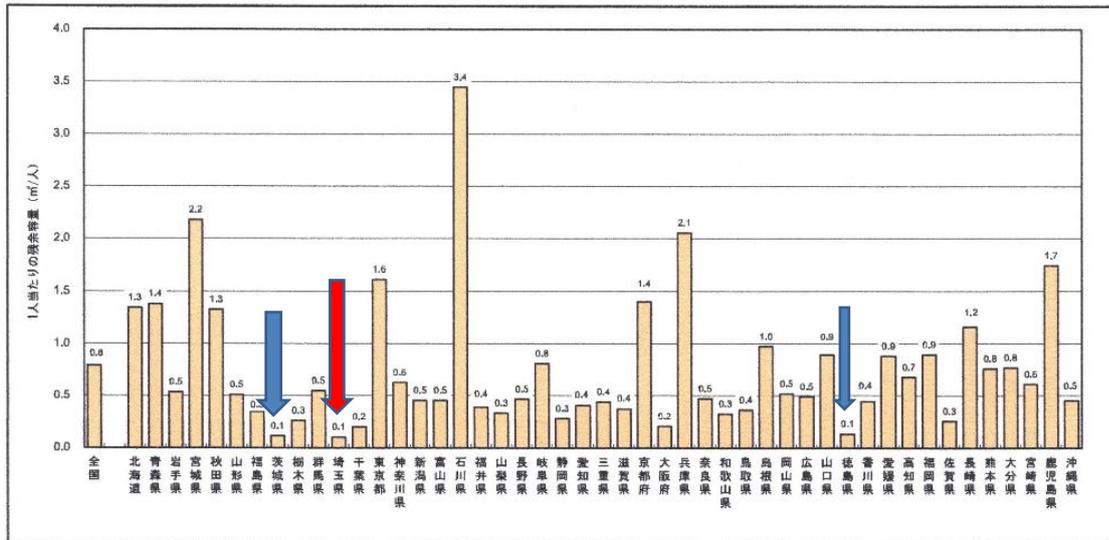


図-19 都道府県別の一人当たりの残容量

一人1日当たりのごみの排出量の全国平均は901gです。徳島県神山町は一人1日当たり368.9gです、全国で最もごみの排出量が少ない町です、彩やリサイクルで有名な上勝町はリサイクル率81%です、徳島県はごみ減量に努力している県です。

因みに私の住む毛呂山町の令和2年度生活系ごみの一人1日当たりの排出量は718gです。そして我が家の一人1日当たりの排出量は40g以下です。

さて、西部環境保全組合では使い捨てカイロや海苔などに入っている乾燥材を燃えるごみに出すように言っています、燃えるのは包装している紙などで中の塩分を含んだ酸化鉄と乾燥材の石灰は燃えません。

不燃ごみに出すようにいっている自治体もあるようです。私は可燃ごみではないと思い、溜め置いたのを年末に処理するために包装を破いて酸化鉄と石灰を取り出しました。意外に量が多いので計量した所1.7kgもありました。燃えるごみに出していればそのまま灰としてカウントされています。

ごみに出すべきものではないと思います埼玉西部環境保全組合に電話しました。電話に出た若い男性職員は酸化鉄が危険な物質の様にとらえ方で土壌汚染に繋がるから燃えるごみに出すべきと回答された。

私は土壌改良材として家庭菜園で利用しようと思っています。

シーズンになるとドラックストアなどでは使い捨てカイロが山積みになっています、メーカーは使用済みカイロの回収を資源循環の点から考える時に来ているのではないかと思っています。

## 税理士法人 T&M ソリューション

毎月第2水曜日は「税の無料相談日」お気軽にお問い合わせください！

お問合せ ☎ 03-5829-9664 E-mail info@tms.or.jp

# エコ・リサ研修見学会のお知らせ

**身近な発電施設の見学会 9月26日(火)**

**東埼玉資源環境組合第2工場（草加市）**

**中川水循環センター（三郷市）**

パーシクル(第2工場の愛称)は、ごみが溶けて有価のスラグしか出てこないという最新の直接ガス化溶融炉です。中川水循環センターは下水処理だけでなく、小水力発電、バイオマス発電施設もあります。バイオマス発電施設は2021年に完成した当時全国最大規模の汚泥消化バイオマス発電システムです！

**集合：南越谷駅東口 洋服のアオキ前 9:30 集合出発**

東埼玉資源環境組合第2工場

吉川市内ランチ ますや「なまず御膳」2100円

中川水循環センター 三郷市

南越谷駅 16:30～17:00 解散予定

参加費： 会員：¥3,500 非会員：¥4,000（昼食代を含む）

お申込みはエコ・リサホームページよりお願い致します。

<http://www.townnavi.info/eco-risa/>

FAXも可能 0480-42-8930 事務局

<申込み締め切り> 2023年9月21日(木)

編集後記：

今年の夏は、命の危険を感じる暑さです。クーラーが必須となりそうですが、電気料金の請求が恐ろしいことになりそうとご心配な方へ、早朝の冷気を室内に取り込み、壁や床、天井を冷やすと節電効果が期待できます。気温が高くなる8時以降は窓を閉めて扇風機を併用し、涼しい夏を過ごしましょう。皆様、元気に研修見学会でお目にかかれること、楽しみにしております。

(大前)